様式第１号（第５条関係）

低炭素建築物設計内容説明書（住戸用）

|  |  |
| --- | --- |
| 住戸番号 |  |
| 建築物の名称 |  |
| 建築物の所在地 |  |
| 設計者氏名 |  |
| 審査員氏名 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 認定事項 | 確認  項目※ | 設　計　内　容　説　明　欄　　　※ | | | 設計内容  確認欄 |
| 項目 | 設計内容 | 記載図書 |
| １．躯体の外皮性能等 | 外皮性能等に係る基本事項 | 地域区分 | □　１地域　　□　２地域　　□　３地域  □　４地域　　□　５地域　　□　６地域  □　７地域　　□　８地域 | □計算書  □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 住宅の構造 | □　木造住宅（　□　軸組構法　　□枠組工法　）  □　鉄骨造住宅  □　鉄筋コンクリート造（組石造含む。）住宅  □　その他 |
| 平均熱貫流率 | 平均熱貫流率の計算値　　　　（　　　　）【W/m2K】 | |
| 平均日射熱取得率 | 冷房期の日射取得係数の計算値　（　　　　）【-】 | |
| ２．一次エネルギー消費量 | 基本事項 | 居室および非居室の面積の入力方法 | □　床面積　（　　　　　）㎡  □　床面積の合計から類推  □　主居室の面積とその他の居室の面積を入力  　　（　　　　）㎡　（　　　　）㎡ | □面積表 |  |
| 日射熱 | 冬季における蓄熱を利用したパッシブ手法の採用 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 暖房設備 | 暖房方式の選択 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 自然風 | 自然風の検討方法 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 遮蔽 | 平均日射取得係数 | 平均日射取得係数の計算値　（　　　　）【-】 | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 冷房設備 | 運転方法 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 換気 | 換気設備方式 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 熱交換 | 熱交換型換気設備 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 太陽給湯 | 太陽熱給湯装置 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 給湯 | 給湯熱源機 | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 配管について | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 水栓について | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 水栓について | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| CG | コージェネレーションの種類について | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| 照明 |  | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
|  | 発電 | 太陽光発電の採用について | □　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □仕上表  □建具表  □矩計図  □ |  |
| ３．その他の措置 |  | 節水に関する取組 | □　節水トイレの設置  □　節水水洗の設置  □　食器用洗浄機の設置 | □仕上表  □平面図  □ |  |
| 雨水等の利用のための設備の設置 | □　雨水利用  □　井水利用  □　雑排水利用 |
| エネルギーマネジメントに関する取組 | □　ＨＥＭＳの採用 |
| 再生可能エネルギー利用設備及びそれと連携した定置型蓄電池の設置 | □再生可能エネルギー及び蓄電池 |
| ヒートアイランド対策 | 敷地緑化等  □　敷地又は水面の面積が敷地面積の１０％以上 |
| 敷地の高反射性塗装  □　日射反射率の高い塗装の面積が敷地面積の１０％以上 |
| 屋上緑化等  □　緑化を行う又は日射反射率等の高い屋根材を使用する面積が屋根面積の２０％以上 |
| 壁面緑化等  □　壁面緑化を行う面積が外壁面積の１０％以上 |
| □緑化等面積率＋日射反射面積率＋屋根緑化等面積率×１/２＋壁面緑化面積率≧１０％ |
| 劣化対策 | □　劣化対策等級３以上 |
| 木造住宅・建築物 | 木材の利用  □　木造住宅  □　木造建築物 |
| 高炉セメント等の利用 | 高炉セメント又はフライアッシュセメントを主要構造部に使用している  □　高炉セメント使用の有無  □　フライアッシュセメント |
|  | 総合的な環境性能評価 | □　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □ |
| ４．資金計画 |  | 建築に係る資金計画 |  | □申請書 |  |

[備考]

１ 「住戸用」は、一戸建て住宅又は共同住宅等若しくは複合建築物の住戸の部分に係る申請の場合に、「共同住宅共用」は、共同住宅等の共用部分の申請の場合に、「非住宅用」は「住戸用」及び「共同住宅共用」以外の申請の場合に、それぞれ該当するものを使用してください。

なお、複数の住戸がある場合は、種類毎に作成又は記載内容が複数の箇所のみ別紙に記載等して使用してください。

２ 「住戸番号」欄には、当該住戸が特定できる番号を記載してください。

３ 「建築物の名称」欄には、建築物が特定できる名称を記入してください。同一敷地内に複数の建築物が存する場合には、記号等を用いて区別してください。未定の場合は、その旨を記載してください。

４ 「建築物の所在地」欄には、建築物が特定できる住居表示を記入してください。未定の場合は、その旨を記載してください。

５ 「設計者氏名」欄には、設計者その他この書類の作成責任者の氏名を記載してください。

６ 「審査員氏名」欄には、技術的審査の場合にあっては審査を行った機関名及び審査員の氏名を記載してください。

７ ※の付されている欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の審査において詳細に設定することができます。

８ 「確認項目」欄には、審査の根拠となる設計内容の項目を記載してください。

９ 「設計内容説明欄」の「設計内容」欄には、建築物の設計内容のうち、審査の根拠となる具体の区分、構造、計算値、数量、設備等の名称、措置の状況、その他の事項を記載してください。

10 「設計内容説明欄」の「記載図書」欄には、「設計内容」欄に記載した事項が記載されている平面図、立面図、断面図、計算書、仕上表、建具表、矩計図、面積表等の具体の設計図書の名称を記載してください。同一名称の図書が複数にわたる場合は、記号、頁番号等により、容易に区別ができるようにしてください。

11 様式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号等を記載してください。